

資源マップも更新中です



帯広市内と近郊の就労系障がい福祉サービス事業所への聞き取りを随時進めています



令和2年11月2日(月)
多機能型福祉サービス事業所
帯広ケア・センター(帯広市)

令和2年11月5日(木)
障がい福祉サービス事業所
スクオーラ帯広校(帯広市)

多機能型福祉サービス事業所 帯広ケア・センター(移行・B型・地活・定着)

今年で開設30周年を迎えた帯広ケア・センターですが、新型コロナウイルスの影響を受け、予定していた一大イベントの収穫祭を中止せざるを得ない状況になってしまったそうです。また、作業活動の中心となる花苗や野菜の生産、加工、販売に関しても縮小傾向にあることから、日中の活動内容や工賃支給に大きく影響しているとのことでした。もともと利用者数が多いことから、春先から一貫して利用時間の短縮と2部制、利用日の調整などの感染予防対策を徹底している中で、働くための基礎的な力が養われづらいことが課題として見えてきたそうです。

職員間や利用者さんとのミーティングを重ね、利用者さんのニーズに応えられるように、1日利用を近日中に一部再開する予定をお聞きました。

また、日々の関わりや就職へのアプローチの仕方、情報共有、スタッフの人材育成などに関しては、自施設内での取り組みだけでなく、地域の関係機関や他就労系福祉サービス事業所との連携からも広く学んでいきたいという考えを伺いました。今後、より一層の連携強化や地域づくりに向けて、我々の取り組みへの期待感も寄せられる聞き取りとなりました。



所長の津田さん(左)とサービス管理責任者の阿部さん(右)にご対応いただきました

4年制福祉事業型専攻大学 スクオーラ帯広校(自立訓練・移行)

開校から3年目、現在1年生~3年生の14名が在籍しています。今年度から施設を長崎屋の3階に移転し、より一層利便性が高まるように環境を整えられたそうです。

入学から2年生までは自立訓練(生活訓練)の在籍により、授業における学びを中心とした教養と自己理解を深め、3年生~就職までは就労移行支援の在籍となり職業研究や職場体験実習を行い就職に向かっていくのが主な取り組みとのことでした。

3年生に対し、ご本人の希望を確認し気持ちに寄り添いながら、実習先の開拓を進めていきたいと考えているそうですが、授業的な学びが中心となる2年間を過ごす中で、自己理解を深めていくための関わり、就職へのモチベーションを育んでいくことが課題であるそうです。

より良い支援の方法について日々模索されていることから、今後、他就労系福祉サービス事業所との連絡会議にも積極的に参加して、制度や対象者への関わりなど広く学びや情報共有をしていきたいと展望をお聞かせいただきました。



学長の加藤さんにご対応いただきました

今後も訪問を進めて参りますので、よろしくお願いいたします